

製品名: PTPN11 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81174**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	68.4kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPN11
別名	CFC; NS1; SHP2; BPTP3; PTP2C; PTP-1D; SH-PTP2; SH-PTP3; MGC14433
遺伝子 ID	5781.0
SwissProt ID	Q06124
免疫原	大腸菌で発現したヒト PTPN11 (AA: 263-329) の精製された組み換え断片。

背景

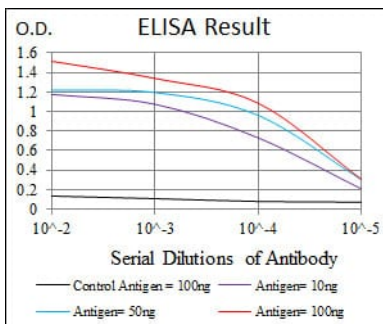
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTP は、細胞の成長、分化、有糸分裂周期、および癌化など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この

PTPには、リン酸化チロシン結合ドメインとして機能し、この PTP とその基質との相互作用を媒介する 2つの直列 Src ホモロジー 2ドメインが含まれています。この PTP はほとんどの組織で広く発現しており、分裂促進活性化、代謝制御、転写制御、細胞遊走など、多様な細胞機能に重要な様々な細胞シグナル伝達イベントにおいて制御的な役割を果たしています。この遺伝子の変異は、ニューナン症候群および急性骨髄性白血病の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2つの転写バリエーションが見つっています。

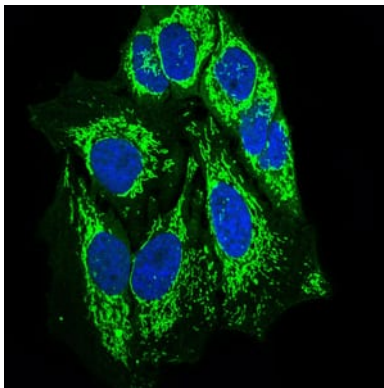
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

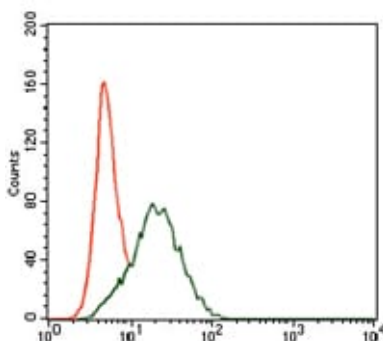
画像データ



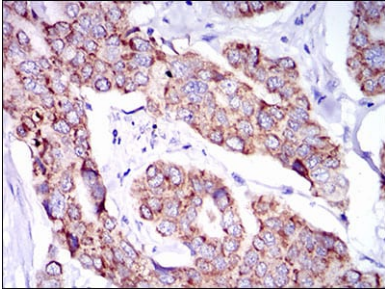
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



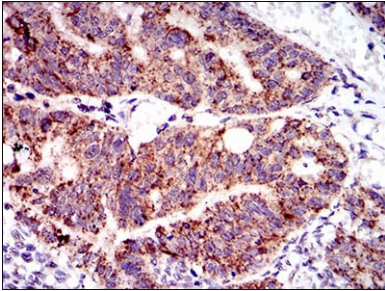
PTPN11 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



PTPN11 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



PTPN11 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



PTPN11 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。